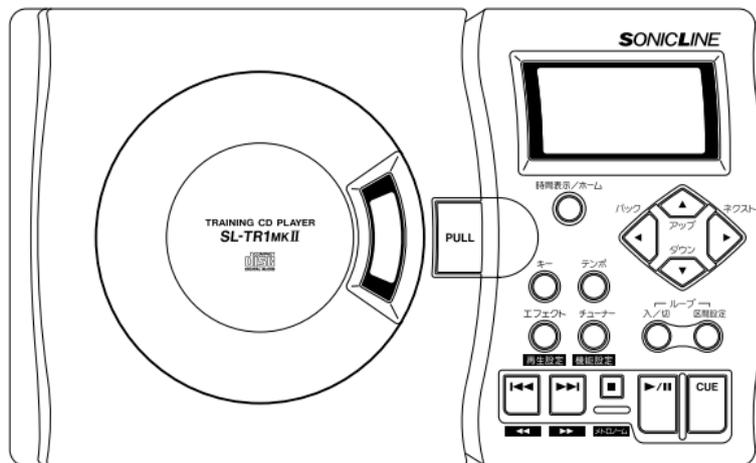


D00889500A

SONICLINE
creating the sound of the future

SL-TR1mkII

Training CD Player



目次

安全にお使いいただくために	2	再生設定の変更	18
はじめに	5	内蔵エフェクターの使い方	19
電源について	6	エフェクトライブラリー	20
各部の名称と機能	8	メトロノームの使い方	21
接続	11	チューナーの使い方	22
メニュー	13	各種設定の方法	23
CDプレーヤーの使い方	15	お困りのときは（出荷時初期設定への戻し方）	25
CD（曲）のピッチ／テンポを変更する	16	仕様	27

取扱説明書

安全にお使いいただくために

この取扱説明書への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警告



万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、電池を電池ケースから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。



万一、機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、電池を電池ケースから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

安全にお使いいただくために



この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。



この機器の上に花瓶や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。



この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。



この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠️注意



オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。



電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

安全にお使いいただくために

次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。



- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- ・ 湿気やほこりの多い場所
- ・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所



移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。又、お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



この機器には、指定のACアダプターをご使用ください。それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。

このたびは、SONICLINE SL-TR1 MKIIをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取扱い方法をご理解いただいた上で、十分に機能を発揮させ末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

コンパクトディスクについて

本機では、以下のディスクが再生できます。

-  マークのあるCD(12cm/8cm)
- 正しい方法でファイナライズされたCD-RおよびCD-RW
- **ご注意**:ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。
- ディスクは必ず印刷面を上にしてセットしてください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、

ディスクの外周部分を手ではさむようにしてください。



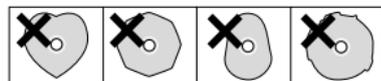
- 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。ディスクの汚れは音質低下の原因になりますので、いつもきれいに掃除して保管してください。



- レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。
- ディスクの印刷面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、

先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて再生できなくなる場合があります。

- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置すると、そりやキズの原因となります。
- ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
- ハート形や八角形などの特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



- CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクメーカーにお問合せください。

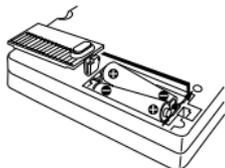
製品のお手入れには

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコール等で拭かないでください。表面を傷める原因となります。

電源について

電池での駆動

本体裏側の電池ケースカバーを外し、ケース内側の⊕と⊖の表示に合わせ、ニッケル水素電池単3型（別売）4本を入れてください。アルカリ乾電池単3型の使用も可能です。これら以外のタイプの電池では正常に動作しません。



電池についての注意

⚠警告

電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

- 電池で使用する場合は、ACアダプターを外してください。
- 電池の⊕⊖の向きを、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。

- 新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 充電電池以外の電池は絶対に充電しないでください。
- 長い間(1ヶ月以上)使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
- 電池を水や火の中に入れてたり、分解したりしないでください。
- 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

電池残量表示

電池での駆動時に、ディスプレイ上の電池マークで、おおよその残量を表示します。

3つ点灯 
電池の残量は十分にあります。

2つ点灯 
電池の残量が半分位になっています。

1つ点灯 
電池の残量が残り少なくなっています。

3つ点滅 

まもなく電池切れです。新しい電池と交換してください。

電池寿命

- ニッケル水素電池 約4.5時間
- アルカリ乾電池 約1.5時間

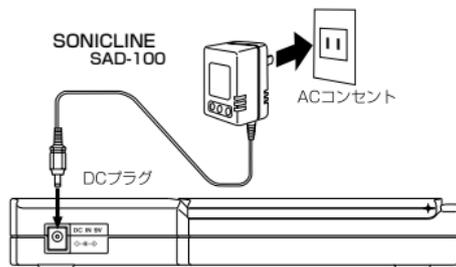
ご注意

- 本製品は一般のポータブルCDプレーヤーに比べ、キー設定やエフェクターなど、特殊な機能が備わっているため、電池寿命が短くなっています。
- 電池寿命は、本機の動作条件（周囲の温度、湿度、各種特殊機能のオン/オフなど）によって変わります。
- 使用環境によっては、電池マークの残量が多いにもかかわらず、正常に動作しないことがあります。この場合は、電池を交換してお使いください。またはACアダプターを使用してください。
- 希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になった電池は廃棄せず、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

ACアダプターでの駆動

ACアダプターはSONICLINE SAD-100（別売）をご使用ください。他のACアダプターは使わないでください。故障の原因になります。

ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN 端子につなぎ、電源プラグを家庭用電源コンセント（AC100 V）に差し込んでください。



ご注意

- ACアダプターで使用するときは、電池を取り出してお使いください。電池が入っている状態でACアダプターを使用すると、ごく稀に小さなノイズを発生することがあります。

す。万一、電池が入っている状態でACアダプターを使ってしまった場合は、電源スイッチで一度電源を切ってから、電池での使用に切り換えてください。電池での使用からACアダプターでの使用に切り換えるときも、同様に一度電源を切ってください。

- 使用しない場合には、ACアダプターをコンセントから抜くようにしてください。
- ディスク読み込み直後および各設定を変更した直後に本機の電源を切らないでください。設定の保存が正常に行われなかった場合や、本機が正常に動作しなくなる恐れがあります。設定の保存が正常に行われなかった場合、各設定は出荷時初期設定（購入時の状態）に戻ります。

電源を入れる

本体の電源を入/切するには、本体横の電源スイッチを操作します。



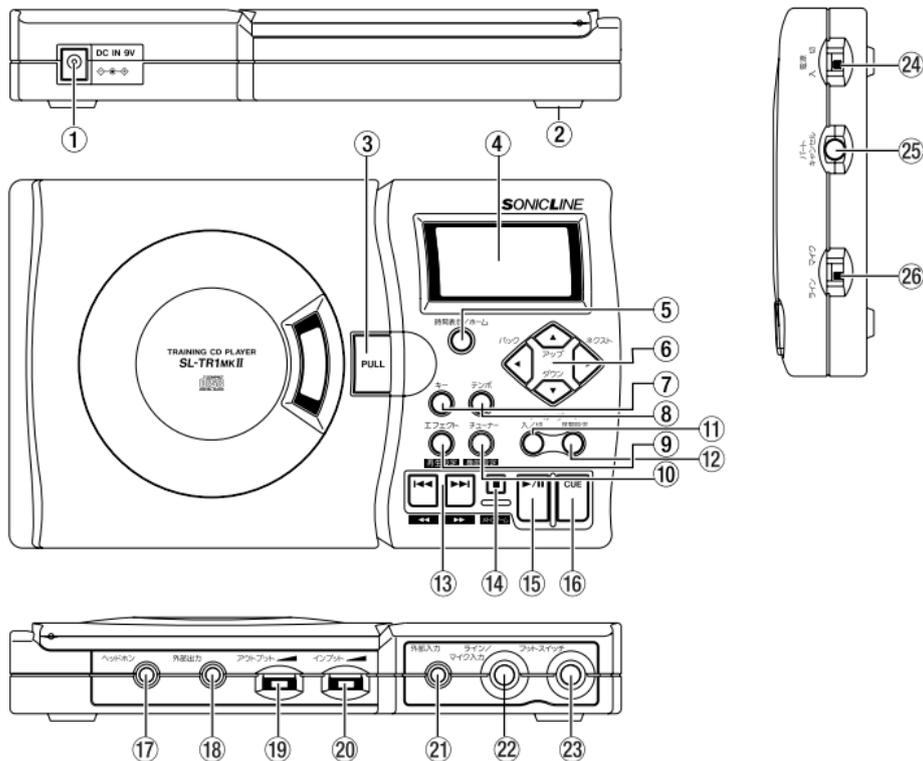
オートパワーセーブ

以下の状態が5分以上続くと、本機のCD部分の電源が自動的に切れます（電池使用時）。ディスプレイのCD部分はCD OFFになります。

- CD停止状態
- CD部カバーが開いている状態。
- ディスクが入っていない状態。

再度電源を入れる場合は、PLAYボタンを押します。

各部の名称と機能



- ① DC IN 端子
- ② 電池ケース
- ③ CD部カバー
- ④ ディスプレイ
- ⑤ 時間表示/ホーム ボタン
- ⑥ バック、ネクスト、アップ、ダウン ボタン
- ⑦ キー ボタン
- ⑧ テンポ ボタン
- ⑨ エフェクト/再生設定 ボタン
- ⑩ チューナー/機能設定 ボタン
- ⑪ 入/切 (ループ) ボタン
- ⑫ 区間設定 (ループ) ボタン
- ⑬ トラックスキップ/サーチ ボタン
- ⑭ STOP/メトロノーム ボタン
- ⑮ PLAY/PAUSE ボタン
- ⑯ CUE (キュー) ボタン
- ⑰ ヘッドホン端子
- ⑱ 外部出力端子
- ⑲ アウトプットダイヤル
- ⑳ インプットダイヤル
- ㉑ 外部入力端子
- ㉒ ライン/マイク入力端子
- ㉓ フットスイッチ端子
- ㉔ 電源スイッチ
- ㉕ パートキャンセルボタン
- ㉖ ライン/マイク切換スイッチ

① DC IN 端子

ACアダプター（別売のSONICLINE SAD-100）のDCプラグをこの端子に差し込みます。

② 電池ケース

本体裏側の電池ケースカバーを外し、単3型電池4本をセットします。

③ CD部カバー

ディスク装着時等は、ロック解除レバーを引いてカバーを持ち上げます。

④ ディスプレイ

このディスプレイ上に本機の状態を表示します。

⑤ 時間表示／ホーム ボタン

- ホーム画面でこのボタンを押すと、ディスプレイ内の時間表示が切り換わります。
- メニューモードでの設定時にこのボタンを押すと、各設定モードからホーム画面に戻ります。

⑥ バック, ネクスト, アップ, ダウン ボタン

メニューモードでの設定時にメニュー項目を選択したり、設定値を

変更するときには使用します。[→13ページ] これらのボタンのホーム画面での機能を設定することもできます。[→23ページ]

⑦ キー ボタン

このボタンを押すと、キーメニューモードに入ります。[→16ページ]

⑧ テンポ ボタン

このボタンを押すと、テンポメニューモードに入ります。[→16ページ]

⑨ エフェクト／再生設定 ボタン

このボタンを押すと、エフェクトメニューや再生設定に入ります。[→18ページ/19ページ]

⑩ チューナー／機能設定 ボタン

このボタンを押すと、チューナーメニューや機能設定に入ります。[→22ページ/23ページ]

⑪ 入/切 (ループ) ボタン

このボタンを押すと、ループモードに入り、ディスプレイ上のLOOPが点灯します。もう一度押すと、ループモードは解除されます。[→15ページ]

⑫ 区間設定 (ループ) ボタン

ある特定の部分をループ再生させるときの「IN点」と「OUT点」を設定します。[→15ページ]

⑬ トラックスキップ／サーチ ボタン

[◀◀/◀▶▶/▶▶]

トラックスキップ：前または後ろの曲にスキップします。

- CD再生中にこのボタンを押すと、前の曲または次の曲にスキップします。
- 停止状態からこのボタンを押すと、再生を開始する曲を選択できます。（再生を始めるには、PLAYボタンを押してください。）

サーチ：早送り／早戻しします。

- CD再生中にこのボタンを押し続けると、早送り／早戻しができます。
- ボタンをさらに押し続けると進む度合いが徐々に大きくなります。

各部の名称と機能

- ⑭ **STOP/メトロノーム ボタン** [■]
CD再生を停止します。また、このボタンを押し続けるとメトロノームメニューに入ります。[→21ページ]
- ⑮ **PLAY/PAUSE ボタン** [▶/||]
CD再生を始めます。
再生中に押すと、一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。
- ⑯ **CUE (キュー) ボタン**
CUEポイント（最後に再生を開始したポイント）に戻ります。CUEのモードには2つのタイプがあり、メニューの[CUE]設定により、CUEボタンを押したときの動作が異なります。[→23ページ]
- ⑰ **ヘッドホン端子**
ヘッドホンを接続します。
- ⑱ **外部出力端子**
アンプ内蔵スピーカーやステレオシステムのAUX入力、カセットデッキ、CDレコーダーなどに接続するときには使用します。
エフェクトやキーコントロール処

理された音が出力されます。

- ⑲ **アウトプットダイヤル**
ヘッドホン端子と外部出力端子の出力音量を調整します。
このダイヤルはヘッドホン端子と外部出力端子の音量を同時に調整します。個別には調整できません。
- ⑳ **インプットダイヤル**
ライン/マイク入力の入力音量を調整します。
- ㉑ **外部入力端子**
外部機器（シンセサイザー、ギタープリアンプ、カセットデッキやエフェクターなど）を接続します。
この端子には音量コントロールがありませんので、それぞれの外部機器側で出力音量を調整します。
- ㉒ **ライン/マイク入力端子**
楽器やマイクなどを接続します。
- ㉓ **フットスイッチ端子**
フットスイッチ（別売）を接続します。フットスイッチには、さまざまな機能を割り当てることができます。機能の切り換えは機能設

定の [FOOT] で行います。[→23ページ]

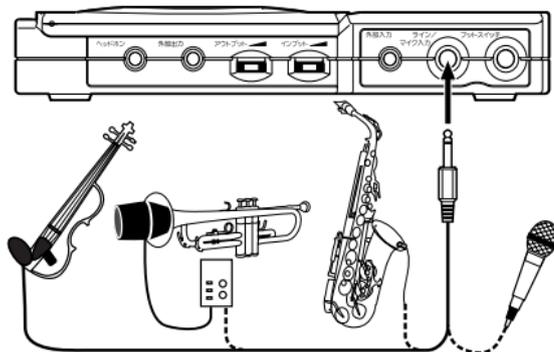
- ㉔ **電源スイッチ**
本機全体の電源を入/切します。
- ㉕ **パートキャンセルボタン**
再生設定（パートキャンセルなど）をオン/オフします。[→18ページ]
- ㉖ **ライン/マイク切換スイッチ**
各入力に合わせて、ライン/マイク入力端子の音量を設定します。

ボタンの上下に印刷文字があるボタン（エフェクトと再生設定など）は

- ボタンを短く押すと：
上の文字の働きをします。
- ボタンを押し続けると：
下の文字の働きをします。

例えば、エフェクト/再生設定ボタンの場合は、短く押すとエフェクトの働きに、押し続けると再生設定の働きになります。

楽器やマイクなどの接続 (ライン/マイク入力)



消音楽器の
LINE OUT

消音システムの
LINE OUT

楽器に取り付けた
コンタクトマイク

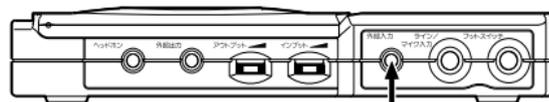
マイク

- 電子楽器や消音楽器などのライン出力、マイクをライン/マイク入力に接続します。
- 電子楽器や消音楽器接続時は、本体横のライン/マイク切換スイッチをライン側に設定します。
- マイク接続時は、本体横のライン/マイク切換スイッチをマイク側に設定します。

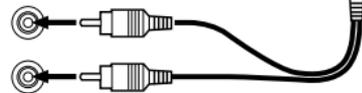
入力音量を調整する

ライン/マイク入力の入力音量は、インプットダイヤルで調整します。

外部機器などの接続



カセットデッキ
などのLINE OUT



- 外部入力端子はステレオミニジャックです。
- 外部入力端子の入力音量は調整できませんので、外部機器側で出力音量を調整してください。

ご注意

ライン/マイク入力端子にギターアンプなどを接続しないでください。故障の原因になります。

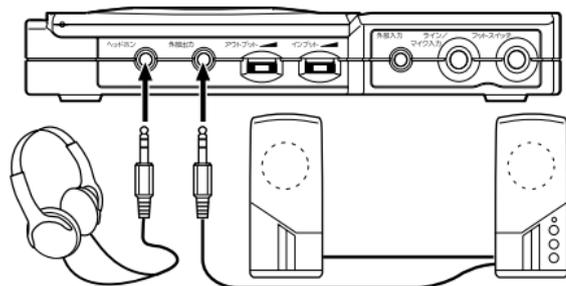
楽器/マイク音声とCD音声のミックスバランスを調整する

チューナー/機能設定ボタンを押し続けて機能設定を開き、[MIX]を選んで値を設定します。

設定の詳細は[23ページ ミックスバランス]をご覧ください。

接続

ヘッドホン／外部機器への接続



- ヘッドホンのプラグをヘッドホン端子に接続して使用します。
- 本機の外部出力端子にはアンプ内蔵スピーカーやステレオシステムのAUX入力、カセットデッキ、CDレコーダーなどが接続できます。

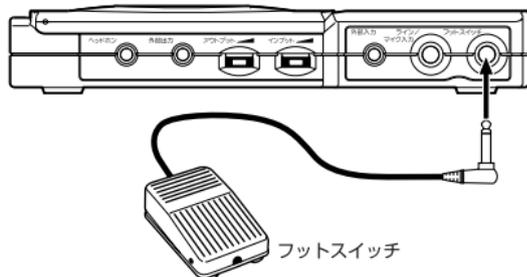
出力音量を調整する

外部出力とヘッドホンの出力音量は、アウトプットダイヤルで調整できます。

ご注意

- アウトプットダイヤルは外部出力とヘッドホンの出力を兼ねています。個別には調整できません。
- 外部出力端子に録音機器などを接続している場合、アウトプットダイヤルを操作することにより、音量が変わりますのでご注意ください。

フットスイッチの接続



- フットスイッチのプラグをフットスイッチ端子に接続して使用します。フットスイッチの極性は、機能設定の [POL] で変更できます。

ご注意

- フットスイッチ端子にはプラグが2極のフットスイッチを接続してください。それ以外の物を使用すると、正しく動作しないことがあります。

メニューを開く

各メニューに対応するボタンを押して、希望するメニューを開きます。

● エフェクトメニュー

エフェクト/再生設定ボタンを押す

● チューナーメニュー

チューナー/機能設定ボタンを押す

● 機能設定

チューナー/機能設定ボタンを押し続ける

● テンポメニュー

テンポボタンを押す

● キーメニュー

キーボタンを押す

● 再生設定

エフェクト/再生設定ボタンを押し続ける

● メトロノームメニュー

STOP/メトロノームボタンを押し続ける

選択されたメニュー（メニューカテゴリー）が点滅し、メニュー項目が表示されます。

メニュー カテゴリー	メニュー 項目	設定値	設定方法
エフェクト エフェクト  再生設定	EFF	設定値の詳細は（→p20 [エフェクター一覧]）	プリセットエフェクトの選択 （→p19）
	PAR	設定値の詳細は（→p20 [エフェクター一覧]）	エフェクトパラメータの設定 （→p19）
チューナー チューナー  機能設定	TUNE	VLN: <u>4G</u> ,3D,2A,1E CHR: 全12音階 （入力音に応じて）	チューナー動作 Violinモードで動作時は弦番号を設定可能（→p22）
	MODE	CHR/VLN	チューナー動作モードの選択 （→p22）
	OSC	(OFF), <u>C</u> ~ <u>B</u> (3 Octaves)	オシレーターの出力音程を設定 （→p22）
	CAL	435~ <u>440</u> ~445	基準周波数（A4,単位：Hz）の設定 （→p22）
機能設定 チューナー  機能設定	MIX	110~11.0, <u>C</u> 1~C10	CDとライン/マイク入力 of ミックス バランスを設定（→p23）
	PLAY	<u>ALL</u> /SGL	全曲再生/1曲再生の選択 （→p23）
	CUE	<u>CUE</u> /FLS	CUEの動作を選択（→p23）
	UPDN	<u>MIX</u> ,TMP,KEY,FIN	ホーム画面でのアップ/ダウンボタ ンの機能設定（→p23）
	FOOT	<u>CUE</u> ,FLS, <u>REW</u> ,FF,RW8 FF8	フットスイッチの機能設定（→p23）
	POL	<u>NOR</u> /INV	フットスイッチの極性設定（→p24）

設定値の下線は、出荷時初期設定を表します。

メニュー

メニュー カテゴリ	メニュー 項目	設定値	設定方法
テンポ テンポ 	TMP	-50,-32,-16,-12, -8,-4, <u>Q</u> +4,+8,+12 +16	CD再生テンポの設定 (→p16)
	TONE	<u>A</u> ,B,C,D,E	再生テンポ変更時の音質調整 (→p16)
キー キー 	KEY	b6~ <u>Q</u> ~#6	キーコントロールの設定 (半音) (→p16)
	FINE	-50~ <u>Q</u> ~+50	ファインチューニングの設定(cent) (→p17)
再生設定 エフェクト  再生設定	PART	L10~1, <u>C</u> ,R1~10	パートキャンセルが削減する定位を 設定 (→p18)
	RNGE	<u>MID</u> /ALL	パートキャンセルが削減する音域を 設定 (→p18)
	MONO	<u>OFF</u> (stereo),L+R,L,R	モノモニターの方式を選択 (→p18)
	SPLT	<u>OFF</u> ,C-I,I-C	スプリットモニターの方式を選択 (→p18)
メトロノーム  メトロノーム	MTRO	(OFF),40~ <u>120</u> ~220	メトロノームのテンポ設定 (→p21)
	BEAT	<u>OFF</u> ,2~6	メトロノームの拍子設定 (→p21)

設定値の下線は、出荷時初期設定を表します。

メニュー項目の選択

◀/▶ ボタンを押すと、メニュー
カテゴリ内のメニュー項目を選択
できます。



設定値の変更

▲/▼ ボタンを押すと、各メニュー
項目の設定値を変更できます。



ホーム画面に戻る

時間表示/ホームボタンを押します。
メニューモードを抜け、ホーム画面
に戻ります。

時間表示/ホーム



本機は普通のCDプレーヤーとほとんど同様に使うことができます。このセクションでは、普通のCDプレーヤーとの違いや本機の特長を説明します。

再生

▶/■ボタンで再生を開始／一時停止します。

■ボタンで停止します。

スキップ／サーチ

◀◀/|◀または▶▶|▶▶ ボタンを押すと、前後のトラックにスキップできます。また、それぞれのボタンを押し続けると、サーチができます。

ループ再生

入/切ボタンを押すと、機能設定の[PLAY]設定に従ったループ再生が行えます。



- | | |
|-----|------------------------------|
| SGL | 1曲 (現在の曲) ループ
(LOOPと1が点灯) |
| ALL | 全曲ループ
(LOOPが点灯) |

ループを解除するには、入/切ボタンをもう一度押します。

区間ループ

ある特定の部分をループ再生させるには、区間設定ボタンを押して、「IN点」と「OUT点」を設定します。



- CD再生／一時停止中に区間設定ボタンを押すと、「IN点」が設定され、ディスプレイ上の"1-O"が点滅を始めます。
- CD再生中にもう一度区間設定ボタンを押すと、「OUT点」が設定され、「IN点」に戻って2点間をつなぎ目なくループ再生します。このときディスプレイ上の"LOOP"と"1-O"が点灯します。
- 区間ループを解除するには、入/切ボタンを押します。"LOOP"が消えて、ループモードが解除されます。(もう一度入/切ボタンを押せば区間ループが始まります。)
- 設定を解除するには、「OUT点」が

設定されている状態から、もう一度区間設定ボタンを押します。

CUEボタン

このボタンを押すと、機能設定の[CUE]設定に従った動作をします。

- | | |
|-----|------------------------------|
| CUE | 最後に再生を開始したポイントで一時停止します。 |
| FLS | 最後に再生を開始したポイントから自動的に再生を始めます。 |

- フットスイッチを使えば、CUEボタンの代わりにペダルが使えるので、足元で操作ができます。なお、この場合は機能設定の[FOOT]をCUEまたはFLS (FLASH) にしておいてください。

ディスプレイ

時間表示/ホームボタンを押すと、トラック経過時間→トラック残り時間→合計残り時間→の順に時間表示を切り換えることができます。

CD (曲) のピッチ／テンポを変更する

本機のCD再生を変える設定は以下の4つです。テンポメニュー/キーメニューの各項目でそれぞれを設定します。

1. テンポコントロール ([TMP])
2. トーンコントロール ([TONE])
3. キーコントロール ([KEY])
4. ファインチューニング ([FINE])

テンポコントロール

テンポコントロールは、曲のテンポを変えます。

1. テンポボタンを押してテンポメニューを開きます。このときディスプレイの**TEMPO**が点滅します。



2. ◀/▶ボタンで[TMP]を選び、▲/▼ボタンで値を設定します。値は -50, -32, -16, -12, -8, -4, 0 (オフ), +4, +8, +12, +16%から選択できます。



設定値が0以外の場合はディスプレイの**TEMPO**が点灯します。

トーンコントロール

トーンコントロールは、テンポを変更したときの音質を調整します。

1. テンポボタンを押してテンポメニューを開きます。
2. ◀/▶ボタンで[TONE]を選び、▲/▼ボタンでA~Eを設定します。

トーンコントロール設定値について

テンポが-16%~+16%の場合はTONE A設定を推奨いたします。

テンポが-32%あるいは-50%の場合、以下の様にトーン設定値の切り換えを行うことにより音質の変化が得られます。

Aに近づくにつれ再生音程が正しくなります。しかし音が震える場合があります。

Eに近づくにつれ音の震えが減ります。しかし正しい音程を再現できない場合があります。

(音源とテンポ設定によっては、音程・震えの改善を両立できない

場合があります。)

ご注意

- 本機はテンポコントロール時に音程が変化しない特殊処理をしているため、再生音が震えているように聴こえることがあります。故障ではありません。その場合はトーンコントロールA~Eの中で音質が最善になるよう調整してください。

キーコントロール

キーコントロールは、曲のキーを半音単位で変えます。

1. キーボタンを押してキーメニューを開きます。このときディスプレイの**KEY**が点滅します。



2. ◀/▶ボタンで[KEY]を選び、▲/▼ボタンで値を設定します。範囲は±6半音 (b6~Q (オフ)~#6) です。

この設定がオンのときは、ディスプレイの**KEY**が点灯します。

ファインチューニング

ファインチューニングは、曲のキーを cent (100 cent=半音) 単位で変えます。楽器と曲の微妙なキーのずれを調整できます。

1. キーボタンを押してキーメニューを開きます。このときディスプレイの **KEY** が点滅します。
2. ◀/▶ ボタンで[FINE]を選び、▲/▼ボタンで値を設定します。範囲は±50 cent (-50~0 (オフ) ~+50) です。

ただし、キーコントロールが#6のときは、ファインチューニングの範囲が-50~0になり、キーコントロールがb6のときは、ファインチューニングの範囲が0~+50になります。

この設定がオンのときは、ディスプレイの **KEY** が点灯します。

ご注意

- ファインチューニングの設定が+1~+50のときキーコントロールを#6に設定すると、ファインチュー

ニングが自動的に0になります。同様に、ファインチューニングが-50~-1のときに、キーコントロールをb6にすると、ファインチューニングが自動的に0になりません。

再生設定の変更

再生設定

再生設定では、CD再生音に対してパートキャンセルパート/パートキャンセルレンジ/モノモニター/スプリットモニターのCD再生設定の変更ができます。

また、本機右横側面のパートキャンセルボタンを押して再生設定で設定したパートキャンセルパート/パートキャンセルレンジをオンまたはオフすることができます。

パートキャンセルパート

CD再生音の特定定位成分を削減します。

- 1.エフェクト/再生設定ボタンを押し続けて再生設定を開きます。このときディスプレイの**CD EFF**が点滅します。



- 2.◀/▶ボタンで [PART] を選び、▲/▼ボタンで削減したい定位を設定します。



値は、L10~1, C, R1~10の中から選択できます。



パートキャンセルレンジ

CD再生音の特定音域を削減します。

- 1.エフェクト/再生設定ボタンを押し続けて再生設定を開きます。このときディスプレイの**CD EFF**が点滅します。
- 2.◀/▶ボタンで [RNGE] を選び、▲/▼ボタンでMID (中域) またはALL (全域) を選択します。

モノモニター

モノモニターの方式を設定します。

- 1.エフェクト/再生設定ボタンを押し続けて再生設定を開きます。このときディスプレイの**CD EFF**が点滅します。
- 2.◀/▶ボタンで [MONO] を選び、▲/▼ボタンで以下の値を選択します。

- L+R: L (左) 音声とR (右) 音声をミックスして出力します。
- L: L音声のみを出力します。
- R: R音声のみを出力します。
- OFF: ステレオ音声を出力します。

スプリットモニター

スプリットモニターの方式を設定します。

- 1.エフェクト/再生設定ボタンを押し続けて再生設定を開きます。このときディスプレイの**CD EFF**が点滅します。
- 2.◀/▶ボタンで [SPLT] を選び、▲/▼ボタンで以下の値を選択します。
 - C-I: 左からCD音声を、右から入力音声を出力します。
 - I-C: 左から入力音声を、右からCD音声を出力します。
 - OFF: CD音声と入力音声をミックスして出力します。

本機には、リバーブやディレイ（エコー）等のエフェクターが内蔵されており、ライン／マイク入力から入力された音声（楽器音等）に対して、エフェクトをかけることができます。

本機のエフェクトライブラリーには、13のプリセットエフェクトが固定で内蔵されています。また、各プリセットエフェクト毎にパラメータ（効果量）を設定することができます。

エフェクターの使い方

1. エフェクト／再生設定ボタンを押して、エフェクトメニューに入ります。このとき、ディスプレイの **EFFECT** が点滅します。



2. ◀/▶ ボタンで [EFF] を選び、▲/▼ ボタンでプリセットエフェクトを選択します。



各プリセットエフェクトの詳細は、「エフェクトライブラリー」[→20ページ] をご覧ください。

3. パラメータを設定する場合は、◀/▶ ボタンで [PAR] を選び、▲/▼ ボタンで各プリセットエフェクトに対するパラメータ (PAR) を設定します。
パラメータは、プリセットエフェクトに対する効果量です。
4. エフェクト設定モードから抜けるには、時間表示/ホームボタンを押します。



プリセットエフェクトが選択されている場合、ディスプレイの **EFFECT** が点灯します。

ご注意

- [EFF:OFF]のときは◀/▶ ボタンで項目の選択はできません。
- [EFF:OFF]以外のエフェクト設定時に[PAR]が選択可能となります。

エフェクトライブラリー

プリセット エフェクト	プリセット名	効果	パラメータの 指定範囲
OFF	EFFECT OFF	なし	なし
RV1	Reverb #1	リバーブエフェクト (タイプ1: 浅いリバーブ)	0~20
RV2	Reverb #2	リバーブエフェクト (タイプ2: 中くらいのリバーブ)	0~20
RV3	Reverb #3	リバーブエフェクト (タイプ3: 深いリバーブ)	0~20
DL1	Delay #1	ディレイエフェクト (タイプ1: 短いディレイ)	0~20
DL2	Delay #2	ディレイエフェクト (タイプ2: 中くらいのディレイ)	0~20
DL3	Delay #3	ディレイエフェクト (タイプ3: 長いディレイ)	0~20
CHO	Chorus	コーラス	0~20
DET	Detune	ディチューン (重奏感を持たせる)	0~20
VIB	Vibrato	ビブラート	0~30
FLG	Flanger	フランジャー	0~30
TRM	Tremolo	ステレオトレモロ (トレモロ/オートパンニング)	0~30
EXC	Exciter	エキサイター (倍音成分を際立たせ音を明瞭にする)	0~20
CMP	Compressor	コンプレッサー (演奏音がCD音声に埋もれないようにする)	0~15

メトロノームの使い方

本機には、メトロノーム機能が内蔵されています。

メトロノーム機能を使うには、メトロノームメニューから操作します。

- STOPボタンを押し続けてメトロノームメニューを開きます。



メトロノーム

テンポを決める

- ◀/▶ボタンで [MTRO] を選び、
- ▲/▼ボタンでテンポを決めます。



テンポは1拍=40~220 (BPM = Beat per minute値) の範囲で選択できます。

値を選択すると、メトロノーム音が出力されます。

メトロノームメニューを開いたときは、メトロノーム音がオフになっていますが、▲ボタンまたは▼ボタン

を押すと、以前に設定したBPM値でメトロノーム音が出力されます。

拍子を決める

- ◀/▶ボタンで [BEAT] を選択し、
- ▲/▼ボタンで拍子 (2~6またはOFF) を決めます。

OFF以外では、1拍目の頭の音の音程が高く、また音量も大きく出力されず。

OFFの場合は、音程・音量とも全拍同じです。

ご注意

- メトロノーム機能は、CD停止時のみ使用可能です。
メトロノーム使用中にCDの再生を始めると、メトロノーム動作は自動的に解除されます。

チューナーの使い方

本機の内蔵チューナーには以下の2つのモードがあります。

クロマチックモード (CHR) :
楽器やマイクなどの入力信号の音程を自動的に認識して表示します。

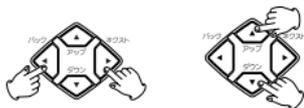
バイオリンモード (VLN) :
チューニングしたい弦を選んでから、チューニングを始めます。

モードを選択するには、

1. チューナーボタンを押してチューナーメニューを開きます。



2. ◀/▶ボタンで [MODE] を選び、▲/▼ボタンで [VLN] または [CHR] を選択します。



クロマチックモードの場合は、TUNE : --が表示され、入力した楽

器などを弾くだけで、最も近い音程がディスプレイに表示されます。楽器の音を出しながらチューナー中央のドットが点灯するように、楽器のチューニングを行います。



バイオリンモードの場合はチューナーメニュー [TUNE] にして、▲/▼ボタンで合わせる弦の音程をあらかじめ設定しておいてから、バイオリンをチューニングします。

設定できる音程は、4G, 3D, 2A, 1Eで、TUNE : XXのように表示されます。

オシレーターの使い方

C~Bまでの音 (サイン波) を3オクターブの範囲で出力することができます。この際の基準周波数は [CAL] の設定に従います。

オシレーターの音と楽器の音をミックスして聞くことができるので、チュー

ニング時に便利です。

1. チューナーボタンを押してチューナーメニューを開きます。
2. ◀/▶ボタンで [OSC] (oscillator) を選び、▲/▼ボタンで希望の音程を選択します。

キャリブレーション

通常A4 = 440 Hzに設定しますが、このA4 (基準周波数) を435Hz~445Hzの範囲で自由に設定することができます。

1. チューナーボタンを押してメニューを開きます。
2. ◀/▶ボタンで [CAL] (calibration) を選び、▲/▼ボタンで値を選択します。
値は、435~445 (Hz) の範囲で選択できます。

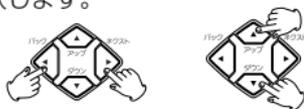
機能設定

機能設定を用いて、本機の細かな設定を行うことができます。

機能設定を開くには、チューナー/機能設定ボタンを押し続けます。このときディスプレイの**SETUP**が点滅します。



◀/▶ ボタンを押してメニュー項目を選び、▲/▼を押して設定値を選択します。



ミックスバランス

ライン/マイク音声と CD音声の音量バランスを調整します。

◀/▶ ボタンで機能設定の[MIX]を選び、▲/▼ボタンで値を設定します。設定できる範囲は、

110~1, 0, C 1~10です。

I [Input]: 数値が増えるとCD音声が小さくなり、楽器/マイク (Input) 音声が聞きやすくなります。

O: 楽器/マイク (Input) とCDが、同じ音量で聞こえます。

C [CD]: 数値が増えると楽器/マイク (Input) 音声が小さくなり、CD音声が聞きやすくなります。

CDの再生モード

CDの再生モードを選択します。

◀/▶ ボタンで機能設定の[PLAY]を選び、▲/▼ボタンでALL (全曲再生モード) または SGL (1曲再生モード) を設定します。

CUEボタンの働き

CUEボタンを押した時の動作を選択します。

◀/▶ ボタンで機能設定の[CUE]を選び、▲/▼ボタンでCUEまたはFLS (FLASH) を設定します。

CUE: 最後に再生を開始したポイント

で一時的に停止します。

FLS: 最後に再生を開始したポイントから自動的に再生を始めます。

アップ/ダウンボタンの機能設定

ホーム画面での▲/▼ボタンの動きを選択します。ホーム画面で▲/▼ボタンを押すと、選択したメニューのパラメータが変化します。

機能設定の[UPDN]を選び、以下から設定を選択します。

MIX: ミックスバランス[→このページ]

TMP: CDの再生テンポ[→16ページ]

KEY: キーコントロール[→16ページ]

FIN: ファインチューニング[→17ページ]

フットスイッチの機能設定

フットスイッチを踏んだときの動きを選択します。

◀/▶ ボタンで機能設定の[FOOT]を選び、▲/▼ボタンで以下から設定を選択します。

CUE, FLS: CUE動作、FLASH動作

[→15ページ]

各種設定の方法

REW, FF : CDのREW (巻戻し)

FF (早送り)

RW8, FF8 : RW8(8秒前まで戻る)

FF8(8秒後まで飛ぶ)

フットスイッチの極性設定

フットスイッチの極性 (ポラリティ) を、ご使用のフットスイッチに合わせて選択します。

◀/▶ ボタンで機能設定の[POL]を選び、NOR(NORMAL)またはINV(INVERT)を設定します。

出荷時初期設定への戻し方

本機は下記の操作により、出荷時初期設定（購入時の状態）に戻すことができます。但し、この操作を行うとお客様が変更した設定が消えますので、ご注意ください。

- ①時間表示/ホームボタン、②区間設定（ループ）ボタン、③PLAY/PAUSEボタンを同時に押します。
- ディスプレイ上に[-CLEAR-]と表示され、数秒後に電源が切れます。
- 電源を入れ直すと、出荷時初期設定（購入時の状態）に戻ります。



故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出される前にもう一度お確かめください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

症 状	考えられる原因	解決方法	参照
電源が入らない	(1)電池が入っていない、または電池が消耗している。 (2)指定以外のACアダプターを使用している。 (3)ACアダプターが本体やコンセントから抜けている。 (4)電源スイッチが「入」になっていない。 (5)オートパワーセーブ状態になっている。	新しい電池をセットする。 指定のACアダプター（SONICLINE SAD-100）を使用する。 ACアダプターの接続を確認する。 電源スイッチを入れる。 オートパワーセーブを解除する。	6ページ 7ページ 7ページ 7ページ 7ページ
CD音声がでない	(1)CDが入っていない、または裏返しに入っている。 (2)規格外、傷、変形、未録音などのCDが入っている。 (3)CDが汚れている。 (4)ヘッドホンケーブルが正しく接続されていない。 (5)ヘッドホンケーブルの端子が汚れている。 (6)アウトプット音量が小さい。 (7)ミックスバランスのCD音声が小さい。	印刷面を上にしてセットする。 CDを交換する。 柔らかい布でCDの信号録音面を清掃する。 ヘッドホンケーブルの接続を確認する。 ヘッドホンケーブル端子を清掃する。 アウトプットダイヤルを調整する。 ミックスバランスを調整する。	5ページ 5ページ 5ページ 12ページ --- 12ページ 23ページ

お困りのときは

症 状	考えられる原因	解決方法	参照
楽器/マイク音声が 出ない	(1)楽器/マイクが本機に正しく接続されていない。	楽器/マイクケーブルの接続を確認する。	11ページ
	(2)楽器/マイクのケーブル端子が汚れている。	楽器/マイクケーブル端子を清掃する。	---
	(3)楽器/マイクの電源スイッチが入っていない。	楽器/マイクの電源スイッチを入れる。	---
	(4)楽器側の出力音量が小さい。	楽器側の出力音量を調整する。	---
	(5)インプット音量が小さい。	インプットダイヤルを調整する。	11ページ
	(6)アウトプット音量が小さい。	アウトプットダイヤルを調整する。	12ページ
	(7)ミックスバランスの楽器/マイク音声が小さい。	ミックスバランスを調整する。	23ページ

仕様

仕様

ディスクタイプ	8cmシングルCD 12cm CD
AD/DA	16bit
デジタル信号処理	32bit
規定出力レベル (外部出力)	-10 dBV
最大出力レベル (外部出力)	0 dBV(1Vrms)
出力インピーダンス	1 K Ω
最大出力レベル (ヘッドホン)	18 mW以上 (32 Ω 負荷)
規定入力レベル ライン入力	-10 dBV
マイク入力	-40 dBV
外部入力	-10 dBV
CD再生特性 周波数特性	20 Hz ~ 20 KHz \pm 1.0 dB
ダイナミックレンジ	>88 dB
S/N比	>88 dB
THD	<0.015%

電源	DC 9V (別売ACアダプター: SONICLINE SAD-100)
	単3形電池 ×4 (ニッケル水素電池、 または、アルカリ電池)
消費電力	4 W (SAD-100使用時)
最大外形寸法 (mm)	232×138×40
質量	620 g (電池含まず)

- 仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なることがあります。